



「2040年問題」について講演する堀理事長

「第7回日本脳神経外科認知症学会学術総会」が11月4・5日、沖縄県市町村自治会館で開かれました。総会終了後、同学会の堀智勝理事長と大会の会長を務めた石内勝吾琉大教授に、認知症の最新医療について意見交換いただきました。

メタボを予防することが
認知症の予防にもつながる

石内 認知症治療には精神科医、脳内内科医、神経内科医、それから神経専門の画像診断医、放射線科医も関わっています。病理学の

を5年遅らせれば、認知症患者を半分にできる」という興味深いスライドがありました。

堀 2020年当時で、日本には認知症の人が約600万人いるといわれていましたが、2025年には約650〜700万人になることが推測されています。これは高齢者の5人に1人が認知症になっ



「認知症患者を減らし、高齢者も労働力として機能してもらうことが大切です」 (堀)

「ライフスタイルを徹底的に見直すことは、認知症の予防にも有効です」 (石内)

日本脳神経外科認知症学会 理事長

堀 智勝 (ほり・ともかつ)・左

琉球大学大学院医学研究科脳神経外科 教授

石内 勝吾 (いしうち・しょうご)・右

超音波を活用した治療を
認知症に応用できる未来へ

石内 本日はお忙しい中お時間をいただきありがとうございます。さつそくですが、日本脳神経外科認知症学会の沿革についてお話しただけです。

堀 私たち脳神経外科医はもちろん外科手術を行うわけですが、外来では認知症の患者さん多いっしやいますから、その勉強もしなければいけません。それで認知症に関する研究会を関西で6回、関東で5回、それぞれ開いた後に関東・関西の合同学会を2回開くなど、十分な準備期間を経て2016年に正式に発足しました。今回の沖縄で第7回目の学会を迎えるに至っています。

石内 堀理事長の今日の発表の中に、ヒトの幹細胞のきれいな画像がありました。側頭葉てんかんなどの手術を行わない限りあのような標本を目にすることはありませんから、非常に貴重なものだと思います。堀理事長は機能脳神経外科医としててんかん手術のオーソリティであり、ご自身の手術標本などを解析して脳の神経新生に関する卓越した見解をお持ちです。そのあたりをぜひご教授いただき

たいと思います。

堀 それほどでもありませんが、側頭葉てんかんのお話をする、私の同年齢である清水弘之先生は、海馬扁桃体を摘出するという従来のてんかん手術ではなく、前頭葉と側頭葉を上下に分けるシルビウス裂からアプローチし、5ミリ間隔で小刻みに切れ込みを入れててんかん波の伝播を抑制する海馬多切術を開発しました。私はそれまで側頭葉の下の方から海馬にアプローチして摘出していたのですが、清水先生のように多切術にすると思外に成績が良い。多切術という治療法は、海馬が硬化していないにも関わらずてんかんを持つている患者さんに特に有効ですが、側頭葉の下から多切術を行うだけで治った患者さんも数人います。

しかしそれは、あくまで外科手術をするという前提での話です。先ほどの講演でも少し触れましたが、集束超音波装置で高周波を当てて血液脳関門を開き、血液や脳内にあるさまざまな物質を取り除くことができます。同様に海馬に220キロヘルツの高周波を当てると、アルツハイマー型認知症の原因の一つとされるアミロイドβがきれいに取り除かれます。そうになると将来的には手術をしなくて

れています。石内教授のような方がそれをしっかり発信して県民のライフスタイルが改善されると患者さんを救うことにもなりますし、結果的に国家財政の改善にもつながります。

石内 沖縄はメタボリック症候群（内臓型肥満、高脂血症、高血圧、血糖上昇のうち2つを認める）の比率が全国一で37・5%となっています。長寿県といわれている長野県や新潟県、最近では岐阜県もそうです。20%台です。特に若年層のメタボリック症候群をどう克服するかが課題とされています。メタボリック症候群は認知症のみならずがんや心疾患、脳血管障害を誘発しますので、ライフスタイルを徹底的に見直すことが認知症のみならず、がんや心疾患、脳血管障害を予防する近道にもなります。

日々の暮らしの中で、腹8分目、地元の食材を食べ、1日最低でも2リットルの水分摂取と運動することを習慣化することが大切です。本日は堀理事長にはご専門のてんかんと認知症治療における最先端の治療の詳細をご紹介いただき大変勉強になりました。ありがとうございます。

堀 ありがとうございます。

もよくなるかもしれませんし、認知症をはじめパーキンソン病などの治療も夢ではなくなるかもしれませんね。

石内 堀理事長はまさにそこがご専門です。従来の治療を応用して脳の組織の機能回復を促進させるという、非常に夢のあるお話だと思います。

認知症になる前から早期に
介入し、予防や進行を緩和

石内 本日の講演のテーマでもある「2025年問題」についてあらためてお話しただけです。

堀 その問題はまだ先の話だと思っていたら、あつという間にあと2年ですね。しかしより深刻なのが「2040年問題」と私は捉えています。この年は団塊ジュニア世代が65歳以上になり、人口ピラミッドでみると一番高い山になると予想されていて、社会保障の持続可能性が大きな問題になります。生産人口はますます減少し、反対に高齢者がさらに増加する。このままで推移すると国家予算が破綻しかねません。そうならないためには、認知症の患者さんを減らして高齢者も労働力として社会で機能してもらうことが大切です。

石内 講演の中で「認知症の発症



医療法人 陽心会



社会福祉法人 陽風会



有限会社 ヘルスサポート

理事長 高良 健

大連中央病院 那覇市安里1-1-37 TEL.098-869-0005(代) リハビリテーション部 TEL.098-869-0050 メディカルプラザ大連中央 那覇市字大連123 TEL.098-886-0007(代) 一部内科部門 TEL.098-886-0115 循環器部門 TEL.098-886-5141 糖尿病部門 TEL.098-886-0115 人工透析部門 TEL.098-886-5151 検査部門 TEL.098-886-5678 介護老人保健施設 やすらぎの里 那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030 グループホーム たかまーみの家 那覇市字大連94-3 TEL.098-887-0081 小規模多機能型ホーム 大連 那覇市字大連94-3 TEL.098-885-0018 グループホーム 大連が丘 那覇市字大連94-3 TEL.098-885-0036	小規模多機能型ホーム 三原 那覇市三原2-8-10 TEL.098-840-0027 訪問看護ステーション 陽心会 那覇市若狭64-9-1F TEL.098-860-1270 那覇市地域包括支援センター 若狭 那覇市若狭2-1-10 TEL.098-863-1165 那覇市地域包括支援センター 新都心 那覇市若狭1-6-15 TEL.098-941-2252 (訪問介護事業所) 那覇市字大連128 TEL.098-885-0033 ケアハウス 常夏島 那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0036 小規模多機能型ホーム 牧志 那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025 有料老人ホーム 星の館 那覇市安里1-1-17 TEL.098-917-1262 特別養護老人ホーム 前島 那覇市前島2-18-17 TEL.098-694-8039	那覇市天吉老人福祉センター 那覇市吉里木吉里2-14 TEL.098-886-3510 那覇市若狭川老人福祉センター 那覇市若狭12-3-11 TEL.098-853-1139 那覇市辻老人福祉の家 那覇市若狭12-14-1 TEL.098-864-0580 有料老人ホーム 三原の家 那覇市三原1-26-40 TEL.098-832-5981 有料老人ホーム 牧志 那覇市若狭2-9-43 TEL.098-862-1331 有料老人ホーム 西町 那覇市西1-20-19 TEL.098-863-7884 デイサービスセンター リバーサイド 那覇市安里1-1-18-3F TEL.098-862-1501	有料老人ホーム 健寿の杜 那覇市安里3-1-47 TEL.098-941-0070 有料老人ホーム 松風邸 那覇市若狭2-10-14 TEL.098-869-8557 グループホーム 若狭の家 那覇市若狭2-10-11 TEL.098-885-0300 グループホーム 若狭の家 那覇市若狭2-4-10 TEL.098-951-0550 グループホーム 若狭の家 那覇市若狭2-4-10 TEL.098-951-0551 在宅総合ケアセンター 大連 那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030 那覇市地域包括支援センター かなぐすく 那覇市牧志1-21-1 TEL.098-852-0777 福祉用具貸与・販売事業所 那覇市字大連128 TEL.098-885-0100
--	--	---	--